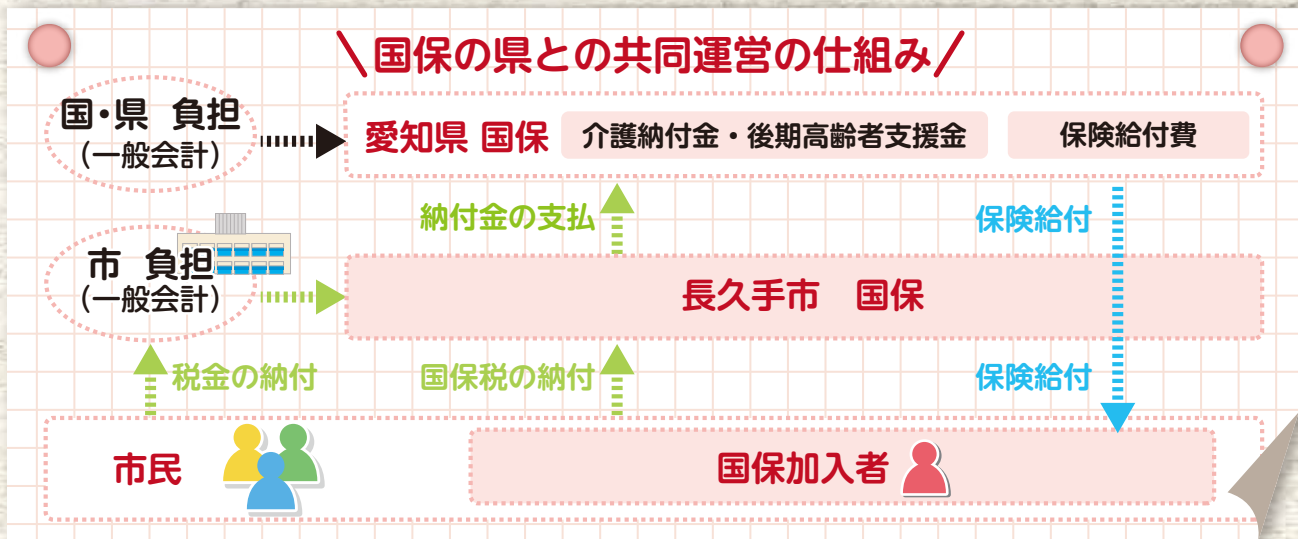


国保の県との共同運営の仕組み



国保改革後は、県全体で医療や介護にかかる費用を見込んで、それを市町村ごとに被保険者数や所得水準などに応じて「納付金」として負担し合う形に変わるの。



話が大きくてよくわからないけど、県との共同運営になると、国保税の負担が上がるのはなんで？



国保は市町村ごとの格差が大きい。それを解消するために「納付金」という形で市町村相互に支え合う仕組みになるの。その「納付金」の支払のために、国保税の値上げが必要になるの。



せっかく健康になったのに、国保税が上がるなんて、なんだか、損した気分・・・。



これからは自分たちで考えないと

国保はみんなの医療や介護を支える大切な仕組み。1人ひとりができること(病気にならない生活習慣)で医療費を減らす努力をしないと。



医療・介護・健康・・・国保のこと、「自分ごと」として考える・・・。

イラスト=真希ナルセ